

新年のごあいさつ

広野町議会議長 北郷 幹夫



令和3年の新春を迎え、議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には日頃より議会運営に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染症により生活様式が大きく変

わった一年でありました。その影響は大きく東京オリンピックが一年延期、本町においてはサマーフェスティバル、童謡まつり等の各種事業、イベントが中止になりました。

新型コロナウイルス感染症は、今もなお続

く猶予ならない国際的な問題であります。ワクチンや特效薬が開発され、一日も早く感染が収束することを願うばかりです。

本年は、東日本大震災及び原子力事故から10年の節目の年であり、復興の拠点と位置付けた広野駅東側及び周辺において、駅構内や未来のかけ橋にエレベーターを設置する工事が予定されており、着実な復興への歩みがまた一つ形として見えてきます。



こんなことが決まりました

12月定例会

令和2年第4回定例会を12月7日から8日までの2日間の会期で開きました。

町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、一般会計・特別会計補正予算を含む全8議案と議員発議2件が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

また、一般質問では5人の議員がそれぞれ町の対応や考えを問いました。

人事案件に同意

広野町固定資産評価審査委員会委員に池田政明氏を再任することに同意しました。

任期は、令和3年3月1日から3年間です。



池田 政明 氏 (折木)

差別のない町づくり 広野町人にやさしいまちづくり 条例を制定

新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病、傷害、性別等を理由とした誹謗中傷などあらゆる差別による人権侵害を防ぎ、町民一人一人が人権を尊重し、思いやりの心を持ち、互いに支え合う共助の理念のもと、人にやさしい町、住みよい地域社会、町民一人一人が幸せに暮らせるまちづくりを実現することを目的として町と町民等の責務を定めた条例を可決しました。



土砂採取地の防災のため 道の駅土砂採取工事変更契約を可決

硬質な岩盤が出現したため掘削土量を減らし、大雨、崩落、土埃などへの対策を行い、再利用を予定していた木材の場外処分を行います。



防災対策強化のため調査中

工事の名称	道の駅土砂採取工事
契約の金額	192,240,000円を 197,229,600円に変更
契約の相手方	道の駅土砂採取工事 田中・五社山特定建設工事共同 企業体

12月の補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	9829万1千円	59億6682万1千円
土地開発事業	74万1千円	1億6621万6千円
介護保険	504万9千円	6億4701万1千円
合計	1億408万1千円	67億8004万8千円

主な内容	
●東日本大震災追悼イベント事業	145万4千円
●新型コロナウイルス感染症対策事業	158万1千円
●東町仮置場跡地掘削造成調査設計委託	900万円
●未来のかけ橋エレベーター設計委託	119万8千円